

東北森林管理局交渉（非現業全国林野関連労働組合東北地方本部）

議 事 要 旨

1 日 時 平成28年3月23日（水）17：30～18：30

2 場 所 東北森林管理局 会議室

3 出席者

東北森林管理局	堀 幸夫	総務企画部長
同	関口 高士	計画保全部長
同	飯塚 淳	森林整備部長
同	津内口雄士	総務課長
同	川原 聡	企画調整課長
同	佐々木欣雄	森林整備課長
同	高橋 守	資源活用課長
同	仙北谷 誠	総務課企画官
同	尾野 譲	総務課課長補佐（福利厚生担当）

非現業全国林野関連労働組合東北地方本部	吉田 照美	執行委員長
同	金澤 紀宏	副執行委員長
同	櫻田 俊行	副執行委員長
同	高橋 茂	書記長
同	藤嶋 靖	執行委員
同	土佐 信浩	執行委員
同	平川 春樹	執行委員

4 交渉事項

労働条件課題について

5 議事概要

労働条件課題について

組合) これまで低コストにおける様々な取り組みが行われているが、各署等においては取り組みにあたり混乱が生じている状況も見受けられる。実行段階で署等担当者が負担なく業務を遂行できるよう、今後、当局の取り組む姿勢について伺う。

当局) この間、局内に低コストチームを設置し、署等に検討状況を情報提供等を行ってきたところである。9月～10月には下刈の省略に関する事務連絡の発出と現地検討会を開催し、署等担当者とも意見交換をしながら進めてきたところである。

また、9月及び3月には、収穫調査に係る会議を開催し、円滑な業務運営に努めてきたところである。

今後とも署等の要請に応じ職員を派遣するなど、署等の円滑な業務運営に努めて参りたい。

組合) 低コスト化の実行段階で担当する職員の不安、負担が生じることはないよう当局が責任を持って進めていくことを求める。

当局) 低コスト化を進めるにあたっては、現場段階での意見等も聞き28年度に向けて円滑に業務が進むようリーダーシップを発揮し進めて参りたい。

組合) 東北局は要員数が定数に満たない状況にあり、空ポストが顕著となっている。平成29年度概算要求に向けてのスタンスと空ポスト等の解消に向けた対策を聞かせていただきたい。

当局) 定数合理化については、林野庁段階で調整決定しているところであるが、当局としては引き続き、厳しい要員事情を林野庁に伝えるとともに、新規採用の確保に努めているところである。

また、当面、定年退職等により空きポストが増える状況が続くと予想される場所であるが、一般職員の任用、非常勤職員等の活用により職員への過度な負担とならないよう対策を講じて参りたい。

組合) 人材育成について、一般会計後、役付け任用まで相当な年数が必要になるが、一般職員の役付任用までの道筋等を明確にするなど若手職員を育成

する上で必要と思われる対策等について聞かせていただきたい。

当局) 一般職員が役付けポストに就くまで一定の年数を経ることになるが、その間において職務意欲を維持し、様々な職務経験が出来るよう「これからの人材育成に係る指針」に基づき、適切に対応して参りたい。

(以上)